

2005

8月号

川上ダム通信

発行者
独立行政法人水資源機構
川上ダム建設所
〒518-0294
三重県伊賀市阿保 251 番地
TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

「青山祭り」に参加

7月23日(土)、伊賀市青山地区の夏の恒例行事である「青山祭り」が伊賀市青山支所駐車場にて開催されました。

川上ダム建設所のブースでは、アートバルーンや名刺の作成、アンケート、パネルの展示を行いました。日没頃からお客さんが増え始め、ブースは順番待ちが出来るほどの人気で、特に名刺作成コーナーでは小さなお子さんにも喜んでいただけて良かったと思います。アンケートにも約400の方に協力していただき、川上ダムをPRするという面では大成功だったと思います。

【工務課 吉武一夫】

来場者の声



アンケート調査をする職員



名刺用の写真を撮影する職員

- ・名刺作成は、娘がとても喜んでいて祭りの良い思い出になりました。(成人男性)
- ・アートバルーン作りで、お花の作り方を教えてもらえてよかった。(中学生女子)

正面入口に行灯設置

7月27日(水)から建設所正面入口に、伊賀市商工会議所青山支部女性部の皆さんが募集・制作された手作りの行灯(あんどん)の一部、二基を設置しています。

この行灯は女性部の皆さんが「三重県伊賀らしい風情形成事業補助金活用事業」において制作されたもので、今回川上ダムとの交流の一環として当建設所への設置を希望されたものです。平日の17時~20時には点灯され玄関を優しく彩っています。



正面玄関を優しく照らす行灯

【通信記者 武村剛泰】

桐ヶ丘夏まつり



小冊子を手渡す職員

8月6日(土) 伊賀市の桐ヶ丘団地内公園にて自治会主催による「第21回桐ヶ丘夏まつり」が開催され、川上ダムも自治会からのお誘いを受けて参加しました。

川上ダム建設所ではパネル展示と子供用小冊子・広報用資料の配布を行いました。パネル展示では熱心に職員の説明に耳を傾ける住民の方々が見受けられ、川上ダムへの関心の高さが伺えました。会場には子供向けにエアードームが設けられたり、大抽選会が行われたりと、趣向が凝らされたお祭りでした。

【通信記者 武村剛泰】

肌で感じる木津川体験



水生昆虫を探す子供たち



図鑑で水生昆虫の名前を調べる子供たち



パネルの説明をする野村環境課長

8月6日(土) 生物調査を通じて郷土の川に親しむイベント「肌で感じる木津川体験」が伊賀市才良の木津川で行われ、三重県などで作る木津川流域リフレッシュ事業推進協議会から水生生物調査の出前講座の依頼があり、川上ダム建設所からも3名の職員が講師として参加しました。

水生生物調査では、玉網ざるとパレットを持ち、川の中の石をひっくり返したりして、水生昆虫を探していました。見つけた生物はパレットに入れ図鑑で名前を調べた上で、採った昆虫の数やその昆虫が住む川の水質などを発表しました。最近では川遊びを禁止している学校も多く、みんな大喜びしていました。中には、頭からずぶぬれになりながら、はしゃいでいた子供もいました。

【総務課 山口哲政】

～建設促進期成同盟会 事業説明会～

8月3日(水) 川上ダム建設所ふれあいホールにおいて、川上ダム建設促進期成同盟会役員会が開催されました。西山会長の挨拶、近畿地整木津川上流河川事務所の谷崎所長による7月1日に国交省が発表したダム方針についての説明、恒吉所長の事業説明の後、同盟会役員による活発な議論が行われ、今後、ダム本体着工までに必要な3つの法手続き(河川整備計画への位置付け、フルプラン改訂、事業実施計画変更)が早急に行われるよう、関係機関に働きかけていくことが確認されました。



【第一用地課長 河田洋弥】

事業説明する恒吉所長

オオサンショウウオ保護池見学会



オオサンショウウオ保護池を見学（8月3日）

事務所に勤める方を対象に、7月27日（水）、8月3日（水）の両日、オオサンショウウオ保護池見学会を開催しました。

参加した13人中、はじめての方が9名でした。バスの移動時間とパネル説明を含めて約1時間で、保護池ではオオサンショウウオの成体（おとな）や幼生（こども）を間近で見てもらい、環境業務への理解を更に深めてもらうことが出来ました。

【環境課 上坂ゆき子】

「建設技術展2005近畿」パネル展示

7月15日（金）・16日（土）に、インデックス大阪にて「建設技術展2005近畿」が開催され、水資源機構関西支社が「ダム事業における環境保全の新たな取り組み」と題して、ブースを出展しました。



水資源機構関西支社ブース



建設技術展2005近畿

その中で、川上ダムにおけるオオサンショウウオの保全対策についてのパネルも展示されました。

会場となったインデックス大阪では、「ロボカップ2005大阪世界大会」が同時開催ということもあり、全体で約18,300名と多くの来場者がありました。機構のブースへは、約160名の方々に入っていました。

【環境課 上坂ゆき子】

新技術の紹介

～チップ緑化工法～



チップ緑化工法とは、盛土法面を伐採材チップで保護し緑化する技術です。伐採材をチップ化し法面に吹付け、その約3ヶ月後に種子吹付することで伐採材の現場内でのリサイクルを可能とした新技術です。チップ吹付厚を変えることで雑草防止や現地植生復元等に幅広く対応でき、チップ層が雨水による法面の浸食を防止し、種子の流失と土壌の乾燥を防止します。そして、法面への金網張りや生育基盤材製造等の前工程が不要なため、施工性が高く、低コストな工法で、チップ吹付装置の使用により、安全で効率的な施工ができます。

【国土交通省ホームページ：新技術情報提供システム（NETIS）より参照】

東郷町民レガッタ大会

ミックスの部第3位!!



8月7日(日)、愛知県の愛知池にて東郷町民レガッタ大会が開催されました。この大会への参加は今年で3回目となり、川上ダムとしてミックス(オープン)の部にチーム名“NO RAIN NO RAINBOW”が出艇しました。参加人数は小規模ですが、結果は見事3位となり、念願の入賞を果たすことができました。

また、会場では愛知用水総合事業部の方々と楽しく親睦を深めました。他の事業所と交流する機会を得た有意義な場だったと実感しました。最後に、川上ダムの参加にご協力頂いた愛知用水総合事業部の皆様に御礼申し上げます。

【工事課 山田英和】



EVENT

映画「SHINOBI」封切り

山田風太郎の小説「甲賀忍法帖」が原作。伊賀と甲賀から選ばれた精鋭が秘術を駆使して戦いを繰り広げるストーリーでキャストは仲間由紀恵さん、オダギリジョーさんら。

ロードショー：日時／9月17日(土)～

場所／ジストシネマ伊賀上野(伊賀市小田町)

上野城 薪能

上野城をバックに、毎年中秋の名月に開催しています。昭和59年から行われており全国にファンも多く、お城祭りのメイン行事でもあります。

日時／9月18日(日)18時～

場所／上野公園 上野城本丸広場特設舞台(伊賀市)

青蓮寺湖 観光村 ぶどう狩り

みずみずしいぶどう食べ放題。

日時／開催中～10月31日まで。 9時～17時。

場所／青蓮寺湖観光村(名張市)

編集後記

今月号では、青山祭り・桐ヶ丘夏まつり、二つのお祭りでの広報活動を掲載しました。また、先月末から建設所玄関に商工会議所女性部の方が制作された行灯を設置しています。このような地域の方々とのつながりをきっかけとして地域に根ざした事務所づくりをしていければと思います。

広報誌発行事務局

編集長 恒吉 徹 (川上ダム
建設所長)

デスク 上村 信幸 (総務課長)

” 二林 修 (工務課長)

通信記者 武村 剛泰 (総務課)

” 田中 幸志 (工務課)